

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 柏本 あおば (Aoba Kashimoto)
所属 (School) 現代システム科学域 マネジメント
学類 (College of Sustainable System, Science
School of Management)
学年 (Grade) 4
留学先 (Name of overseas institution)
タイ 泰日工業大学 (Thailand, Thai-Nichi
Institute of Technology)
留学期間 (study abroad period)
2019/8/29~2019/9/10
記入日 (Date) 2019/9/19

留学レポート Study Abroad Report

私は今回学生生活最後の夏休みを利用して、TNI サマープログラムに参加させて頂きました。このプログラムでは北海道、東北、名古屋、東京、大阪等さまざまな都道府県からの学生 26 人が参加していました。知らない学生と二人一部屋と聞いていましたが、女子の参加者が五名のみでしたので私は一人部屋でした。ホテルがコテージタイプだったため他の部屋にも気軽に行き来できたものの、衛生的とは言い難い水まわりからの異臭、夜になると聞こえる猫か何かの唸り声、表の道に面したガラス一枚の扉のなかで過ごすのは毎晩かなり不安でした。

衛生面、整備されていない道、治安等々バンコクでの二週間の生活に不安を覚えながら参加した初日の泰日工業大学の学生とのディナーでしたが、現地の学生は日本に対して強い関心を持っている親日的な人ばかりでしたし日本語も堪能でしたので特にコミュニケーションで困ることはありませんでした。

まだタイに慣れていない二日目から行われたホームステイも、学生の二人暮らしのアパートメントでのステイでダブルベッドで三人で寝ることになりましたが年の近いものしかいない環境で逆にすぐに打ち解けて仲良くなることができ、まるで友達と遊びに行くような感覚でのお出かけをたくさんできてとても楽しい二泊三日となりました。

日本語で行われた基礎タイ語の授業、マングローブでの植林、お寺の散策、博物館、日系企業訪問、現地学生とのチャットタイム等盛り沢山のプログラムでしたが、その中でも最終日の小学校訪問が強く印象に残りました。小学校側にとっては一大イベントである聞いてはいましたが、児童が日泰両国の国旗を振って出迎えてくれ、まるでスターを迎えるような熱烈な歓迎を受けました。タイの人たちがそれだけ日本に対して親日的な姿勢でいてくれていることを今まで知らず、あまりにもすごいもてなしに正直なところびっくりしました。

タイで出会った人たちは信じられないほど親日的で優しく、今まで興味を持つことの無かったタイの文化や言語を学んでみたくなりました。このプログラムに興味を抱いている人がいれば、是非渡泰をおすすめします。その際、くれぐれもヒールの靴は持っていかないことをお勧めします、タイの舗装されていない道ではフラットな靴でも転けずに歩くので精一杯でした。

是非、泰日工業大学サマープログラムに参加してみてください、そしてタイの人々を大好きになって帰ってきてください。



